

令和6年度 沖縄県・那覇市風しん抗体検査事業のご案内

未来の赤ちゃんを守るために

無料 風しん抗体

検査を受けましょう!!



風しんとは？

風しんは、風しんウイルスが原因でおこる発疹を伴う感染症です。主な症状は、発疹、発熱、耳の後ろのリンパ節の腫れです。

妊娠中の女性（特に妊娠20週頃まで）が風しんに感染すると、生まれてくる赤ちゃんに、難聴、心臓に異常がある、目が見えにくくなる、精神や身体の発達に遅れが生じる等の障がいが出る可能性があります。そのため、妊娠・出産を考えている女性又はそのご家族は、事前の風しん予防が大切です。

検査について

【対象者】 **沖縄県在住**で、次のいずれかに該当する方

- ①妊娠を希望する女性
- ②妊娠を希望する女性の配偶者や同居者など
- ③風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者や同居者など

※ただし、S37/4/2～S54/4/1生まれの男性又は、過去に風しん抗体検査を受けたことがあり、感染防御に十分な抗体があることが確認できる者は除く。

【期間】 令和6年4月1日～令和7年3月31日

※期間内に検査結果が判明する場合。

【料金】 無料

【利用方法】 沖縄県及び那覇市のホームページに掲載されている「風しん抗体検査実施医療機関一覧」に本事業を利用することを伝え、上で検査を予約して受検（クーポン等はありません）。

【検査】 血液採取による抗体検査

【結果】 来院又は郵送（医療機関によって異なります）

【予防接種】 検査の結果、予防接種が必要な場合は、**検査を受けた医療機関**にお問い合わせ下さい。
なお、予防接種にかかる費用は「**有料**」になります。

※その他、ご不明な点があればお気軽にお電話ください
《お問合せ先》

沖縄県 感染症対策課 098-866-2013
那覇市保健所 保健総務課 感染症G 098-853-7972



風しん予防接種



Q 子供の頃に風しんにかかった記憶があります。だから、風しんへの免疫があるから大丈夫ですよね？

A ぜひ、この免疫力を調べる検査(抗体検査)を受けましょう。

記憶違いや風しんに似た病気だった可能性があります。現在の状態を知るために、ぜひ免疫の有無を調べる検査をご検討ください。

また、既に抗体がある方が予防接種受けても問題ないことから、検査をせずに予防接種することも可能です。

Q 予防接種1回受けたから大丈夫？

A 生涯で2回接種した方が良いと言われています。

予防接種を受けた方のほとんどが風しんの免疫を獲得します。しかし、1回の接種では免疫がつきにくい方が約5%おられます。これらの方でも2回目の接種を受けることで免疫を獲得できる場合がほとんどです。

また、1回の接種で抗体がついた方でも、10年ほどで抗体が低下し、風しんにかかってしまう例がみられます。

生涯のうち、2回接種することが大事です。

Q 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性は、風しん抗体検査を受けられないの？

A この年代の方は市町村より抗体検査と予防接種のクーポンが発行されます。

市町村で発行されるクーポンを提示すれば、医療機関で無料で検査を受けることができます。抗体検査の結果、予防接種が必要と判断されれば、無料で予防接種を受けられます。詳細はお住まいの市町村にお問い合わせください。

Q 予防接種はどこで受けることができますか？費用は？

A 医療機関で受けることができ、7,000円～10,000円前後の費用がかかります。

医療機関で予防接種を受けることが可能です。接種希望の際は、検査を受検した医療機関に、お問い合わせください。

予防接種には、風しん単独ワクチンと麻しん風しん混合ワクチン(MR混合ワクチン)があります。麻しん(はしか)に対する抗体が低い方も多いため、風しんの予防接種を受ける際は、風しんと麻しん(はしか)が混合されたMRワクチンがお勧めです。その場合、7,000円～10,000円前後の費用がかかります。

Q 予防接種を受ける上での注意点は？

A 女性は、妊娠している可能性がある場合、接種できません。

風しんワクチンは、妊娠中の女性は接種できません。妊娠中の女性が風しんワクチンを接種したために赤ちゃんに障がいが出たという報告はありませんが、接種後は2ヶ月間の避妊が必要です。

風しんワクチン接種後に妊娠が判明した場合、妊娠中断の必要はないと考えられています。

なお、男性のワクチン接種による赤ちゃんへの影響は心配ありません。